

1 主題 ものを大切に 【内容項目1-(1)思慮・反省，節度・節制】

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本資料は，内容項目1-(1)であり，基本的な生活習慣を身に付け，節度のある生活ができる児童を育てることをねらいとしている。物質的に豊かになりすぎた現在，物の価値や尊さが忘れられてきている。特に食べ物については，「飽食の時代」「グルメ」などと言われたりして，食べ物を粗末にしてはいけない，という昔の教えは通用しなくなっている。こういう時代だからこそ，物を大切にし，節度を守り，節制に心がけることが求められていると考え，本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は，物を大切にし，節度・節制に心がけることの必要性を頭では理解している。しかし，日常生活の様子を見てみると，持ち物に名前が記入されておらず落とし物は減らない，物を紛失してしまうとよく探しもしないで新しい物を買ってしまうといった状態である。

実態調査	平成19年6月12日実施	2年生31人	
ちょうりいんさんは，どんなきもちで子どもたちのきゅうしょくをつくっていると思いますか。			
・残さず全部食べてほしいな。	15人	・みんなにおいしく食べてもらいたいな。	7人
・子どもたちのためにがんばろう。	2人	・大きく育ててほしい。	1人
・分からない	6人		
きゅうしょくをぜんぶ食べられなかったとき，あなたはどんな気もちになりますか。一番自分の気もちにちかいものに1つをつけください。			
ア おなかがいっぱいだからしかたがないなあ。	4人		
イ きらいなたべものがあつたから食べられないなあ。	4人		
ウ べつになんにもかんじない。	0人		
エ あしたはがんばってたべよう。	11人		
オ もったいないなあ。	1人		
カ つくってくれた人にわるいなあ。	11人		

アンケートの結果を見ると，児童は，自分たちのために調理員が一生懸命に給食を作ってくれていると考えることができる。そして，給食を残してしまったときは，調理員に悪いと思っている。しかし，食べ物を残す事に対して，仕方がないと感じており，「食べ物を大切にしよう」「もったいない」とは感じていない。これは，自分にとって食べてる物すべてが「生きているものであり命があつたもの」であるという意識があまりないからであろう。児童自身が食べ物にも感謝できるよう，内面から望ましいことだと自覚し，節度ある生活態度や自制心が培われるよう指導していく必要があると考えた。

(3) 資料について(資料名「もったいないばあさん」真珠まりこ・講談社)

「もったいないばあさん」の目を通して，食生活に危険信号を送るこの資料は，「もったいない，もったいない」と繰り返してでくる言葉が児童に強いインパクトを与える。祖父母や親からよく言われた言葉などと比較しながらねらいに迫りたい。また，食以外のことにも広げて，物を大切にすることの重要性も感じ取らせていきたい。

3 事前・事後の指導

事前指導	事前に実態調査をし，物を大切にしようとする意識や考え方を把握する。 (朝の会) 落とし物について考える時間を設定し，自分にとって考えなければいけないことは何か，見直す時間をもつ。(帰りの会)
道徳の時間	主題名「ものを大切に」 資料名「もったいないばあさん」
事後指導	週予定表などで授業の様子やねらいについて家庭にも伝え，「節度のある生活」について親子でも考える機会をもつよう，願います。

4 本時の指導

(1) ねらい

日常生活でもったいないことをしていないかどうか振り返り，食べ物を大切にしようとする心を育てる。

(2) 準備・資料

資料「もったいないばあさん」, 場面絵, ワークシート

(3) 展開

主な活動  
と発問  
中心発問

予想される  
児童の反応

指導及び  
留意点

評価

<p>1 給食の残さいについて学校栄養職員から話を聞く。 今話を聞いてどう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんなにたくさんのこしていたんだ。</li> <li>・たくさんのこっているので、びっくりした。</li> <li>・たくさんのこしてもったいないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養職員には「残さいがたくさんあり、食べ物を無駄にしていること」に触れるように依頼しておき、価値の方向付けを図る。また、残さいの様子を写真を撮っておき視覚に訴える。</li> </ul>
<p>2 資料「もったいないばあさん」を読み、物の大切さについて話し合う。</p> <p>「もったいない」とおばあさんから言われたぼくは、どんな気持ちになったでしょう。 おばあさんは、どうして「もったいない」というのでしょうか。 食べ物たちは、どのように食べてほしいか、思っているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べられないんだからしかたがない。</li> <li>・うるさいなあ。</li> <li>・もったいないことしたな。</li> <li>・少しぐらいいいじゃないか。</li> <li>・物を大切にしてほしい。</li> <li>・どうしてのこすのか。かなしい。</li> <li>・もったいないことをするな。</li> <li>・しっかり食べてほしい。</li> <li>・人間はひどいな。</li> <li>・もったいないことするな。</li> <li>・食べ物を大切にしてほしい。</li> <li>・食べものにも命があるんだよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居形式にし、児童が楽しく話の中に入れるようにする。</li> <li>・教師は「もったいないばあさん」役、児童は「ぼく」役になり、劇化することで、ぼくの気持ちを感じ取らせる。</li> <li>・場面絵を貼付し、児童には「もったいないばあさんの」ペープサートをもたせることで、おばあさんの気持ちに気付かせる。</li> <li>・食べ物たちの気持ちになりやすいように、吹き出しに書かせる。</li> <li>・児童が気付かない場合は、「いただきます」の言葉は誰に対して言っている言葉なのかを考えさせ、食べ物にも命があることに気付かせる。</li> </ul>
<p>3 もったいないばあさんに手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、食べ物も大切にしたいです。</li> <li>・すききらいをしないで食べます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食をはじめ、食べ物を食べるとき、今までの自分の気持ちや態度について振り返ることで、これからは気をつけようとする自分の気持ちをまとめることができるようにする。</li> </ul>
<p>4 調理員の話聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物やつくっている人に感謝する気持ちをもたせたい。</li> </ul>
<p>自分の生活を振り返り、よりよい気持ちや態度で食べ物を食べていこうと考えている。 (発言・ワークシート)</p>		